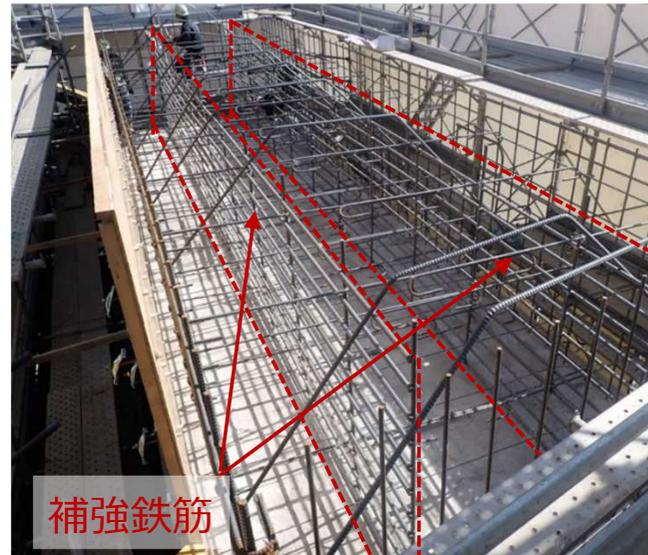
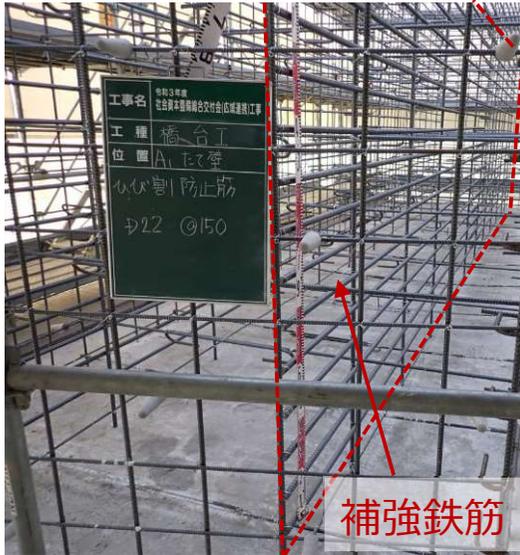


NDリーバー工法適用事例① (道路橋下部工橋台)

長野県発注 令和3年度社会資本整備総合交付金(広域連携)工事

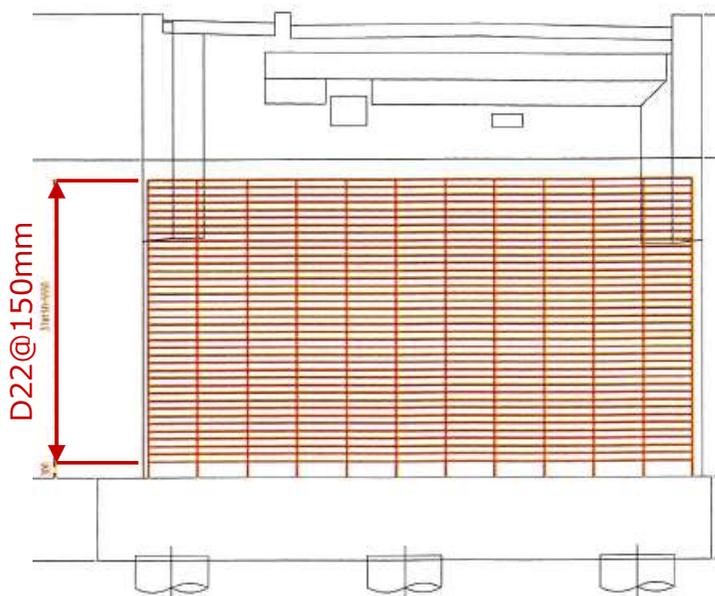
▼補強鉄筋の配置状況



▼完成写真



▼補強鉄筋の配筋図



縦壁の形状寸法

壁厚 : 3.2m
幅 : 11.3m
高さ : 6.2m

補強鉄筋の配置

D22を150mm間隔で
表面から900mm(2列)
に配置

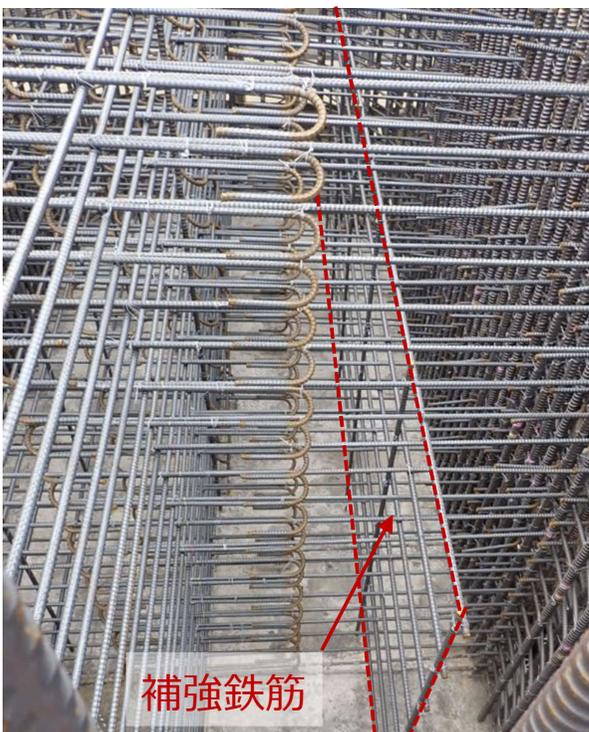
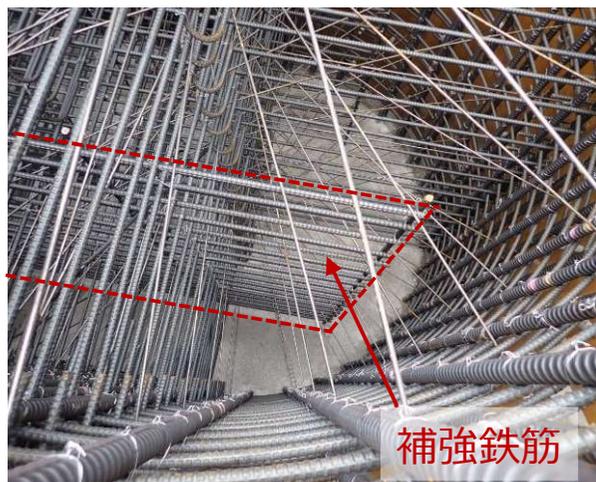


温度ひび割れを防止

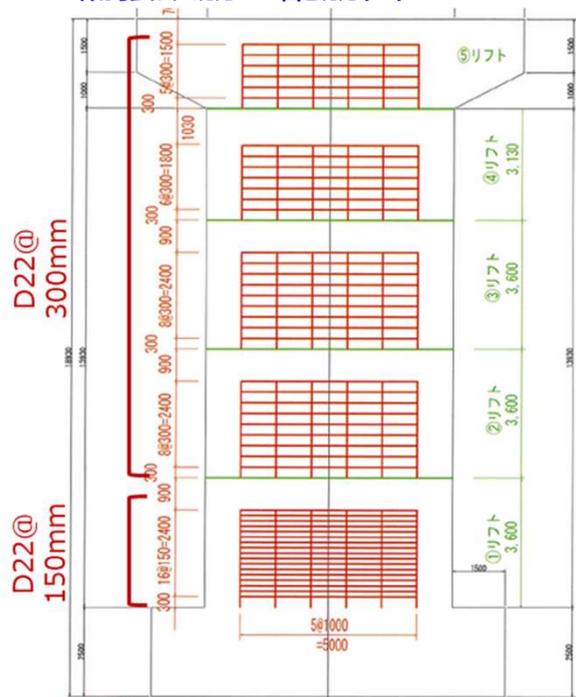
NDリーバー工法適用事例② (道路橋下部工橋脚)

長野県発注 令和3年度社会資本整備総合交付金(広域連携)工事

▼補強鉄筋の配置状況



▼補強鉄筋の配筋図



脚柱部の形状寸法

壁厚 : 3.5m

幅 : 7.0m

高さ : 13.9m

補強鉄筋の配置

D22を150mm間隔(1リフト)

D22を300mm間隔(2~5リフト)

表面から900mm(2列に配置)



温度ひび割れを防止

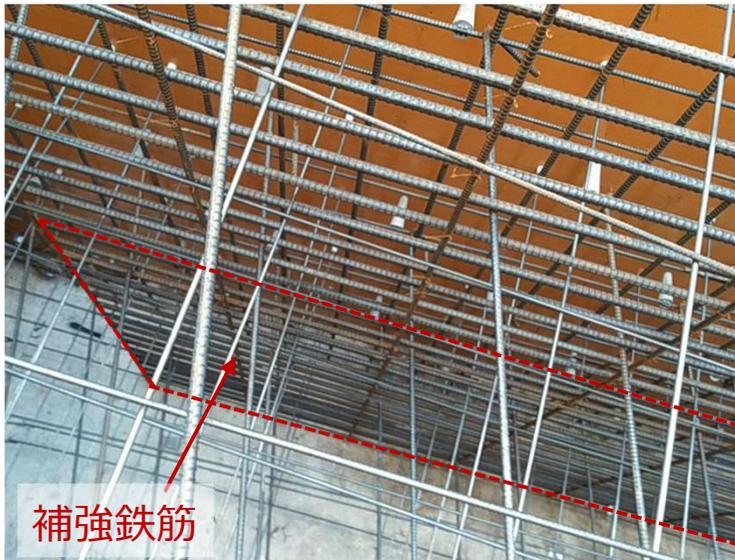
▼完成写真



NDリーバー工法適用事例③ (道路橋下部工橋台)

三重県発注 一般国道工事368号(上長瀬)道路改良(2号線下部工)工事

▼補強鉄筋の配置状況



▼完成写真



壁厚 : 2.40m

幅 : 11.25m

高さ : 4.73m

補強鉄筋の配置

D22を150mm間隔

表面から600mm

(2列に配置)



温度ひび割れを防止

